

社会新報個人版

岩手県北上市議会議員

佐藤ケイ子

活動報告

8



いきいき通信

発行所 / 社会民主党全国連合機関紙宣伝局

東京都千代田区永田町 1-8-1

佐藤ケイ子後援会 岩手県北上市下江釣子 16-154-3 (0197-77-2126)

ごあいさつ



梅雨の候、お元気ですか。

くぼ孝喜さん県議選トップ当選！

ご支援に感謝します

この1年間、県議の席を小原宣良さんから何としても久保孝喜さんへ・・・と、スタッフとして行動してきました。選挙は多くの人手が必要でしたが、ご協力頂いた皆さんに感謝するばかりです。

選挙期間中は、この選挙システムの改善方法がないものかと思うことシバシバ。アピールの仕方、選挙車の運行スタイル、集会運営や電話のかけ方・・・アイデアを出してはみるものの、従来と似たり寄ったりになるのが現実。

さて、3月には市議選。また皆さんにご迷惑をかけるのは心苦しいけど・・・どうすればいいのか妙案はないのです。ご支援をお願い申し上げます。

福祉の理念はどこに

市議会議員として8年が過ぎ9年目。年4回の議会のうち3回は一般質問で登壇。福祉関係は毎回のように取り上げていますが、介護や障がい者の制度が複雑化されて理解に苦しむことが多くなりました。福祉関係を取り上げる議員も固定化した感があります。

6月議会を前にして、面識のない若いお母さんから電話やお手紙を頂きました。その女性は「福祉関係はケイ子議員に・・・」と、ある方から紹介されたとのことでした。このような評価を頂いている事をありがたいことと受け止めて今後も頑張っていきたいと思います。

とは言っても、介護保険も福祉の理念が薄れ、保育もコスト最優先、障がい者自立支援法では負担増と経営問題など国の制度矛盾が表面化しています。利用者も我慢を強いられ、福祉職場の待遇も悪化しているのが現実で、みんながやり場のない不安や不満を痛感しています。

市民税アップ、どうして？

住民税がアップしたと不満の声をよく聞きます。所得税の税率を下げ、住民税の税率をアップさせて地方に税源を移譲するもの。所得税と住民税を合計すると同額と説明されてきましたが、定率減税の廃止分が影響して増税感が強い。大企業優遇の税制も見直してほしいものです。

エルニーニョ現象で暑い夏が予想されています。暑気払いに生ビールはいかが！！

佐藤ケイ子を囲む

納涼パーティーのご案内

とき 7月21日(土)午後6時
ところ 江釣子地区交流センター(大ホール)
会費 男性2,000円・女性1,000円

毎年好評の「納涼パーティー」です。いつも、歌あり、踊りあり、抽選会ありで大変盛り上がっています。

チケットがなくても入場できますので、お誘いあわせの上ご参加願います。



昨年のパーティー。すばらしいおどりで、みなさん盛り上げてくれます

佐藤ケイ子を囲む納涼パーティー



縁起の良いもちつきも行われました

この1年間の 一般質問



18年9月議会

緊急プログラムの状況と 新構造改革について

質問 この3年間の行革緊急プログラムの中
間状況はどうか。新政策推進費として確保した
10億円はどう活用されたか。

答弁 各種の経費削減で約28億円の削減効果
があり、市職員は48名削減、臨時非常勤は
10%減員となった。新規事業は産業振興に約3
億9300万円、教育関係に1億2600万
円、福祉関係に1億5500万円など総額7億
5000万円の取り組みを行った。

質問 構造改革は投資的事業の凍結をするべ
きではないか。

答弁 投資的事業は、平成3年度から15年度
までの平均は約101億円だったが、この2年
間は34億円程度である。今後も厳しく精査す
るが、まちづくりに必要な事業は実施しなけれ
ばならない。

図書館の充実を

質問 構造改革で中央図書館は委託を考
えているのか。和賀と江釣子の分館や自動車文庫は
廃止に向けての検討なのか。充実こそ望まれる
と思うがどうか。

答弁 図書館の望ましい姿が国から示されて
おり検証する必要がある。図書館協議会や利用
者の意見を聞きながら、サービス向上につな
がるような図書館のあり方を検討する。



クボクリックスの事故調査、膨大なゴミ
の量とズサンな管理が問題に。



18年12月議会

高齢者負担の増加実態は

質問 高齢者に対する税制改正が国保税や介
護保険料増に影響しているが実態は。

答弁 住民税の税率が3%の方は2万4百円、
8%の方は5万4400円の市民税増加。国保
税は1万4千円、介護保険料は2万3千円の増
加になり、2年間の緩和措置により徐々に増額
される。負担増に対する問い合わせは600件
あった。

質問 介護予防事業の状況は。施設入所待機者
は何人か。

答弁 転倒予防や口腔ケア教室は83回1457
名の参加、介護予防講演会は4回90名が参加
している。ふれあいデイサービスでも講話や血
圧測定を実施している。施設入所待機者は3月
末で103人いる。小規模多機能施設の開設で改
善を期待したい。

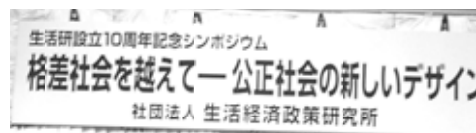
質問 高齢者政策は改悪が続き、負担増と医療
介護の不安や市町村財政の圧迫となっている
と思うが、市長の見解と対応を伺う。

答弁 少子高齢化の中で持続可能な制度に向
けて世代間の平等な負担が必要と考える。介護
保険の安定や後期高齢者医療制度の創設に対
し国庫負担の拡充強化を要望している。

水道業務の委託メリットは

質問 水道料金業務の委託のメリットは何か。
リスク管理の責任は誰にあるのか。今後は全業
務の委託も想定しているのか。

答弁 19年度から一部委託を行い、8名の職
員を段階的に削減することにより、経営の効率
化と土日の顧客ニーズに答える。業務が適正に
履行されているか監督義務と責任は市にある。
当面は広域化検討が優先課題であり、現時点で
は料金業務以外の委託は考えていない。



生活経済研究所の講義（東京11月）を聞く。
格差の固定化と拡大、世代間連鎖の具体例を分析

今年の予算の特徴は

19 年度の予算は承認されているが、4 月の市長選が行われるため骨格予算となった。

6 月議会で肉付けの補正予算が議会に提案され、38 件 4 億 8000 万の新規事業が審議された。

当初予算：一般会計	約 308 億円
9 つの特別会計	約 260 億円
合計	約 569 億円
6 月補正：一般会計	4 億 4700 万円追加

19 年度の主な新規事業（当初）

いわさき小学校建設事業	9 億 5000 万円
小中学校耐震補強事業	2000 万円
黒北小増築	4500 万円
岩崎地区交流センター建設	1 億 6000 万円
障がい者通所サービス利用促進	1300 万円
消防屯所建設 1 箇所	3000 万円

6 月補正の主な新規事業

プール解体事業（3ヶ所）	2100 万円
強い農業づくり事業補助	1200 万円
大堤陸橋ボルト点検補修事業	5600 万円
飯豊和田線交通安全施設事業	3500 万円
いわさき小スクールバス購入	1400 万円
いわさき小建設事業	5100 万円
詩歌文学館整備事業	2300 万円

いわさき小学校の整備は 18 年度からトータルで 13 億円になる。



議会雑感

**「あなたの声が
力になります」**

今回一般質問の通告後、見知らぬ方から連絡がありお話を聞くと「ファミリーホームで子どもを預かってもらって本当に助け、2 人目の出産ができた。育児の悩みも相談しているが、今度職員が減らされると本当に困る・・・」と。ちょうど通告をしている内容と同様なので、議場での発言になった。

その若いママさんたちは、初めて議会傍聴をし、自分の「生の声や思い」が議会で紹介され、市長にも理解してもらったと感激していたが、簡単に問題は解決しない。

しかし「現場の声や思いが発言の力になる」ことは間違いない。市民の声を届けていく意義を再認識した。

またご連絡をお願いします。

19 年 6 月議会

子育て環境の充実を

質問 大規模学童クラブは、3 年後に国の補助金が廃止されるが影響はどうか。国に制度矛盾の是正を要望すべきではないか。

答弁 市内に 71 人以上の学童は 7 箇所あり、分割すると委託料は倍になり、施設の確保等課題が多い。間仕切りで分割認定もあるようだが、国に対して適正な規模の基準見直しを要望していく。

質問 新規の子育て支援事業の内容は。ファミリーサポートセンターの職員が減られるが円滑に事業が推進されるか。

答弁 新たに「産褥期サポート事業」を行い、産後の育児支援を行う。ファミリーサポートセンターの職員体制は、利用者の切実な声もあり、緊急対応を行う。

質問 岩崎保育園は「認定こども園」と決まったのか。「認定こども園」は、直接契約制や保育料、職員配置基準、経営問題など課題が多い。公設での運営を。

答弁 岩崎保育園は幼稚園と保育園を統合する「認定こども園」として 21 年度設置に向け検討中である。公立は国の補助がないので民営で設置したい。公正な入所基準や保育料など市内の均衡が図られるよう指導する。

障がい者の地域移行施策は

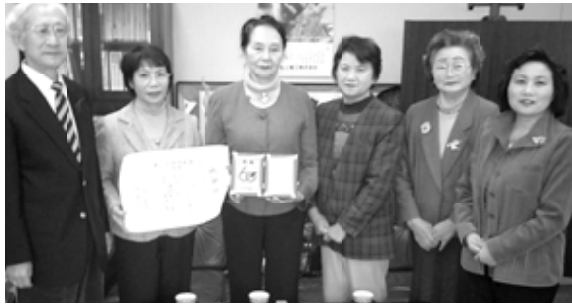
質問 旧北星荘を障がい者の施設とする構想はどうなったか。施設入所者の内約 40 名が地域に移行されるが対応は。

答弁 旧北星荘は授産施設やグループホームの活用を検討したが、利用者数や施設の規模等問題が多い。他の福祉施設も視野に入れ早期に結論を出す。解体すれば補助金返還 4 千万円と工事費 6000 万円が見込まれるが売却益が出る。改修の場合は約 1500 万円の工事費がかかる。精神障がい者のグループホーム設置は、現在知的障害者が民家等を借りて運営し市が一部負担しており同様に対応する。



活動のひとコマ

市婦協：永年の共同募金の取り組みに感謝状授与



江釣子フラワー：グリーンパークの花植えに参加



全国自治研究集会（10月）：沖縄守礼の門



ひめゆり部隊記念館も見学するが、戦争の傷跡から発信されるメッセージに平和への思いを新たにする。

終戦の日：平和の鐘を鳴らす（江釣子全明寺）



あとがき 年を重ねると1日、1ヵ月、1年が早く過ぎるように感じられるのは気のせいでしょうか？「あっ」という間に納涼パーティーの時期を迎え、議会や日常の活動に精力的なケイ子さんを十分に応援できなかったことを反省し、気を引き締めてかからねばと思う今日この頃です。（事務局）

おすすめ映画鑑賞

婦人会映画会「フラガール」

（日本アカデミー賞最優秀作品ほか5冠達成）
北国を常夏の楽園へ。

40年の時を超え語られる奇跡の実話

昭和40年、エネルギー革命により閉鎖が迫る炭鉱のまち。そこには北国をハワイに変えようと起死回生のプロジェクトが、目玉となるのがフラダンスショー。誰も見たことがなかったフラダンスを炭鉱の娘たちに教えるため東京からダンサーが……。生きるためにひたむきに踊る少女たちの姿、しかし全くのドシロウトに世間の風当たりは強い。（あとは見て下さい）

市婦協はこの収益金を北上市福祉基金に寄附し社会貢献の活動とするものです。

（17年度は25万円寄付）ご協力を...

期 日 8月18日（土）

時 間 10:30 13:30 18:00

場 所 さくらホール(中ホール)

入場料 大人1,000円 小中高500円

チケットは市婦協会員、福祉団体等、プレイガイド

今どきの話題

《年金》 記録漏れが5000万件の他に1430万件が発覚。安部首相は参院選を前に「1年間で解決する」とうそぶき、社保庁解体法や時効援用法案などを強行採決。すべての人が救済される保障もなく国民の怒りは頂点に。（姓が変わる女性の方が宙に浮いている？）社会保険庁を解体して責任放棄しようとすることも問題。

《介護保険》 業界最大手コムスンの数々の不正が発覚。親会社のグッドウィル（訳すと“善意”）は、介護事業からの撤退を表明。介護を「金もうけの手段」としか考えないことも許せないが制度の矛盾も問題。

それにしても、福祉関係者の低賃金と労働環境はひどい。結果、人手不足に。利用者も遠慮と我慢の制度になってきた。

《強行採決》 憲法改悪にむけた国民投票法案、年金もみ消し法案、官僚の天下り紹介法案など次々に強行採決。国民をバカにしていると言えない。やはり選挙で示すしかない。

《しょうがない》 原爆を容認するような防衛大臣の発言は、多くの犠牲者や今も苦しむ被爆者の心を逆なでにした。謝罪より選挙の影響を意識しての大臣交代。「しょうがない」では許されない。

参院選 佐藤ケイ子は「いさわ昌弘」（選挙区）
「又市征治」（比例区）を応援しています。